

□ 随想 □

想い出す、と

遠藤 周作

もともと話をするのが不得手なのと、講演などは私の本来の仕事ではないので、大低はお断わりするのだか、関西の大学から依頼されると何となく承諾してノコノコ出かけて行く。そしてそれが京都や大阪での仕事であつても事情が許す限り宿は宝塚ホテルにとる。

阪急電車に揺られながら窓の外を眺める。東京近辺の黒褐色の土をみなれた眼に赤っぽい土の色が鮮やかに映る。「ああ、帰って来たんだ」戦争中、まだ慶応の予科生だった頃、激しい勤労奉仕と栄養失調の東京での生活に疲れ果てて帰省した時、すし詰電車の中でこの土の色をみても思わず涙をこぼしたのを思い出す。この赤褐色の土はいつみてもあたたかく豊かで大好きだ。

電車が仁川の駅にとまると、ついふらりと降り

てしまう。私が住んでいたのはもう二十数年前、建物は變つても道はそう變つていない。柄にもなく感傷的な気分になつて一人で歩いてみる。

むこうから犬が一匹、トコトコ駆けてくる。野良公のような風采でスットンキョウな顔をした奴だ。それでも赤い革の首輪をつけているのでどこかの飼犬なのだろう。道に何か落ちていると囀んでみたり、道端の草に小便をひっかけたり、他の家の垣根をくぐり抜けたり、いっこう真っ直に歩こうとしない。この滑稽なワン公のあとについて歩いていると子供の頃の私はこのワン公そっくりであつたことに気がつき可笑しくなつてしまつた。

友達から「凸坊^{でこぼう}、凸坊^{でこぼう}」と呼ばれていたあの頃、学校から家までどんなにゆっくり歩いても十

五分とかからない道を「周ちゃんは二時間かかって帰ってくる」と母を驚き呆れさせたものだった。大きなランドセルを背負ったまま、蟻が昆虫の死骸を自分達の巣までせっせと運んでいくのを、無事にその作業が完了するまで眺めていたり、よその家の垣根のバラの蕾の一つのこさず数えてみたり、ついでに害虫も退治してやり、くたびれたら樹陰で昼寝もし、川原でめだかをおどかし、兎に角、目につくものには何でも交き合ったのだから一時間でも二時間でも経つ筈である。

学校では

「宿題やっていないものは？ 又、遠藤か、立つとれ」

「後で騒いでいるのは誰か？ 又、遠藤か、立つとれ」

兎に角、「又、遠藤か、立つとれ」と拳骨の雨で終始した。母に懇々と諭されて授業中、一生懸命、黒板をみつめ先生の言われる事を聴くのだが、どんなに努力してもさっぱりわからない。たまりかねてあたりをきよるきよるしはじめる。友だちは皆、温和しく先生の話を聴いている。前に座っている奴の首すじを尖った鉛筆でチュツチュツと突いてみる。「キヤアー」驚いた友だちは、突っ拍子もない声をあげる。「ハックショイ」私はあわてて誤魔化すため嘘をする、が先生の眼は鋭くこちらをにらんでいる。

「こらあ、又、遠藤か、お前は どうして……」

放課後、皆帰ってしまった教室で一人残された私は、さすがに悲しくなつて「なんで僕はせいでもええことばかりして叱られるんやるか」と考え込んでしまった。

此頃の心理は、今考えてみてもわからない。要するに泥だらけになつてほつつき歩いているワンちゃんとか何らかわりがなかったのである。二つ違いの兄に今でもよく云われる話だが、雨降りの日に傘をさして如露で庭の草花に水をかけていた子供なのである。兄貴は秀才で、中学四年から一高、東大、高文というその頃の秀才コースを進んでいった男なのだから、私の馬鹿さ加減は余計めだったのだった。だが兄は私のことを心配してよくかばってくれた。そして母は唯一の保護者だった。バイオリニストを志ざしていた母は、結婚し子供ができ、二人の男の子が取っ組み合いの喧嘩をしている傍でも毎日欠かさず何時間かはバイオリンを弾いていた。何と気の強い母親なのか私がびっくりしたことがある。例によって教師になぐられ、その時は相当ひどいわるさをやったのか、前歯をへし折られて家へ帰った。それを見て母は顔色を変えて学校えどなりこんで行った。「息子を教育してもらうために学校えやっているのだから、謝れ」「謝る必要はない」教師も相当頑張ったらしいが、兎に角、謝る迄はここを動きませんと座りこんだおばはんはんに根負けしたのか、結局、母は自分の言い分を通して引きあげてきた。

「お前は人より本を沢山読んでいるから偉い偉い」と劣等感のかたまりみたいな私をほめ、おだてて例えそれが漫画であろうと講談本であろうと本だけは欲しいだけ買い与えてくれた。

その母も今はいない。私にとつて母の想い出はやはりこの仁川の月見カ丘の頃の元気な頼もしい母親がなつかしい。

五十二年 七カ月の眼

津 高 和 一 〈絵も〉

眼ノ一

小さな水滴の様な少年の眼に、様々な人間の、
或は、風物の投影が、映像し、消えて行つた。ま
るで透明な不思議な地図の上を歩く思いなのであ
る。青や、赤の原色の旗がハタハタとわけもなく
時間の中で漂泊し、流れて行つた。

立っている位置が、いつの間にか、鮮明な青年
期の、正体不明の衝撃波に身構える姿勢となつた
りしていた。

山が、女が、死が、次々と網膜の青いスクリー
ンで変貌を重ねては聚雨の様にこれも行き過ぎた
のであろう。

記憶は、夢の如くに時間がない。消えたと思ふ
と又、現われる。

本当は夢が現実だったのかも知れない。
何処かの国の、何処かの人間が、その何処か
で。ずっと以前から、現在まで、それから未来ま



でも。澄明な、或は、どろんこの眼を見張り、眠
り、球体の地表の凸凹の何処かの箇所であつた。
それはそれなりの仮説の設定をし、仮説の仮説
に浮身を横たえて、来客を待ち、押しかけたりす
るのである。

私の眼も、この何のへんてつも無い、その眼の
一つにすぎないことは自明である。

眼ノ二

一匹の動物が

交尾に発声し

一羽の鳥が

飢をみつめ

一つの虫が

同類の転移を知り

一尾の魚が

居住区域外の海流に埋没し

一人の人間が

方向探知機の眼をぶらさげ

一個の物体が

歷程の無言の化石となり

一つの因子が

何億年目かの何かと邂逅し

一つの機会が

女と男の触覚で開花し

一つの音が 真空に凝固し

一つの入口が 同時に出口であつたり

一つの嘘が 真実らしい真実につながり

一つのゼロが 無限大の起点とならなかつたり

眼ノ三

匿名人が受信して、名宛人不明に発信することは当然すぎる程、当然のことであつても、これをヤブニラミだ、というものが居たりする。ほんとうは、ヤブニラミのヤブニラミでなく、正視者のヤブニラミであつて、虚構は、虚像のプラスチックファを内臓した限界のない、貴重な、大切なものにつながる唯一のものだということを知らない結果だったのである。

現実には、過去という後方と、未来という前方の、タンなる中間なのだという、あまりにも歴然とした事実、眼をつむり、得手勝手な多数決らしい常識に、便乗することが、悪徳でもなんでもないことになった。

誤謬は、そこから始まつたのである。むしろこのことを意識したものの方が、方向音痴だ、というのである。

すべて間隙をヌイ、空巢ネライをやり、マコト、シヤカナ慣習らしきものを護符として身につけることが、現代の社会でも、芸術の場合においても必須科目だ、と錯覚しているところが死角となつてゐるのである。

苦しいときの神だのみ、ということがある、便利なものである。楽しいときの、人騒がせも、逆説としてなりたつ。

眼ノ四

見ることは 何億年目の来歴をもち
見ることは 尺度があり 尺度がない
見ることは 自分のレンズを使用し
見ることは 埋蔵量含有のタカであり
見ることは 推移する時間と、の足音との落差であり

見ることは 聞耳をたてることである
見ることは 見るためのものではない
見ることは ありそうでなく ないようである
見ることは ということである
見ることは 見ることは と見る
見ることは ことのための 好き嫌ひにかかわりなく終始呼吸のある限りつづく
こと、逃げ、カクレ出来ないのもおもしろい

眼ノ五

眼には、眼を、ということが、ジツに空々しい響をタテタとしても、それが空しいものだ、と感じなければ、それは、それまで、といふものだらう偶然は、偶然にやってくるもので、これとの出会いは意識してもどうにもならない。

眼は、全開よりも、半眼に開いている方が、到来するモノとの出会いに、距離の測定が便利である。この一見古風なアリカタは、タネも、シカケもない、何億年目かの私という人間の、発見でも、チエでもないものである。

□ 随 想 □

帽子と離婚

三好三千子

え・中西 勝

関西は私鉄が発達していて、その一本の線ごとに微妙に乗客のふんいきがちがう。旅に出ていて乗物を取り継いで大阪駅に帰ってくる、ほっとする。しかし私など、もう十年近くも乗りなれた阪急宝塚線の各駅停車のシートに座った時にはじめて、しんからやれやれとくつろいだ気分になる。いろんなカラーがある中で、阪急神戸線はおしゃれ線という定評があるようだ。乗客のムードが何となくハイカラで、洋服姿のびったりと身についたお年寄を見かけたりする。そんな神戸線でも帽子をかぶった女性を見ることは少いようだ。

私たち夫婦は子供のいないのんきさから、時たま



フラリと小旅行にでかける。あらかじめプランを立てたりすることは少い。気まぐれな旅である。乗るかえ時間などもよく確かめないで、田舎の駅で放って置かれたりするのを楽しむというぐあいである。そんなある時、駅へ遊びにきていた小学生が私たちを見て「あれ、新婚旅行やるか」とガヤガヤ言い出した。おやおやと苦笑しているとそのうちの一人が「いやちがう」と言う。「新婚旅行やったら帽子をかぶっとる、あの女の方は帽子をかぶってない、故に彼らは新婚旅行やない。」すると、一同はなるほどと納得したようだった。確かに新婚旅行の新婚たちは申し合せたように頭

に帽子をのせている。一般の婦人たちが帽子をかぶらないのでその一組はいやでも目立つ。そしてハネムーン列車やハネムーン・コースのバスは似たような帽子の展覧会場となる。旅行から帰ってくると新婦たちはたちまちその帽子をしまいこんでしまつてめつたなことでは取り出さなくなる。

外国映画では横丁の屋台のおばあさんでも、ちよいとおでかけというとき必ず帽子をかぶっているかさばった円い帽子の箱と同じくらい積んである場面を見たこともある。私は団地の住人になつて長いが、洋服箱がむき出しになつてゐる、近くからの引越荷物で、帽子の箱がいくつもというのにはお目にかかつたことがない。

女性には人目に立ちたい際立ちたいという欲望と、人並でいたい、みんなの中にもぐりこんでひっそりと安心していたいという本能とが並んでゐるようだ。新婚旅行には一生一度の晴れがましい姿を思いっきり見せびらかして、さてオクさんに納つてしまふと当らず触らずのぶじな恰好に落ち着く。外側だけでなく、中身も娘時代の威勢のよいオリジナルな人生観から安全本位のスイートホームばんざい主義に変わってくる。

目立ちたくないということは、目立つほど自信がないということでもある。なるほど街で見かける帽子すがたで、ウムとうならせる、またはうっかりと気付かないほどの、うまい、さりげないのに出逢ふことは少い。ニンに合うという言葉があるが、西洋のおばあちゃんだとピタリ、ニンに合う帽子が、大阪の街角では宙に浮いて見える。しかしこの夏あたり、パラソルに代つて帽子をかぶる人がふえるのではないかと思われる。宙に浮い

た帽子も何とか工夫を重ねるうちに、だんだんと頭になじんでくるだろう。洋服のおシャレも本気でやるならば頭の先までゆき届かなくてはウソだ。

ところで私の周囲ではこの頃離婚人口がふえてきている。離婚というのは有名人でなくても、もの珍らしい好奇の目を集める。スイートホームマダムにとっては、大変みづともない恥ずかしい目立ちかたである。陰にこもつたり、あきらめたり、目をそらしたり、いろいろと精神の操作をして、この思ひべき目立ちかたに至らないようにと、彼女たちは必死につとめる。その結果、一見安穩そうな夫婦が居並んで、破鏡の人々を高見から哀れむ仕儀となる。

昔とちがつて女の方から申し出るケースも多いらしく、一人になつた彼女たちは発刺として若返つてゐる。気の毒がられるのは迷惑なようだ。彼女たちは今や目立つことに自信を持つてゐるので隠れみのはいらなくなつたのだ。

勇敢に似合う帽子をえらぶように、人目には立つが自分に納得のできる生き方をえらび取る勇気を持つ女性がふえてきた。別れない勇気の方がもっと大変なんだと言いたい気もあるが、それはやはり人目に立たない、とりあえず世間体はぶじなやり方である。

ほんとうに自分を大切に思い本気で生きるためには、ある時は離婚もしなければならぬだろう。浮き上つた思いつきでなく、身にそつた考え方で行に移す女性がふえてきたことは頼もしい。

彼女たちが帽子の愛好者であるかどうかは知らない。

お便りありがとうございます
 夕夜小包がついて
 みんな大喜び
 おいしいお菓子の
 一枚一枚に
 家族一同すっかり
 神戸の想い出に
 ふけりました

味覚の愉しみ
 贈るよろこび

ゴーフル



神戸にそだって 70年



月堂

元町3丁目 TEL 2412-5



O-SHIBATA



柴田音吉洋服店

神戸・元町通4丁目 神戸 34-0693
 大阪・高麗橋2丁目 大阪 231-2106



涼しく、軽やかに着る！

大丸オリジナル
高級紳士既製服 **トロージャン**

夏のトロージャンこそ理想の既製
服です！ * 3階 紳士服売場

夏背広上下 (毛100%) **14,000円**を

夏背広上着 (毛50%、ポリエステル50%) **8,500円**を

夏替ズボン (毛50%、ポリエステル50%) **3,500円**を



DAIMARU, KOBE

TEL. (33) 8121



'65 マリンルックサングラス

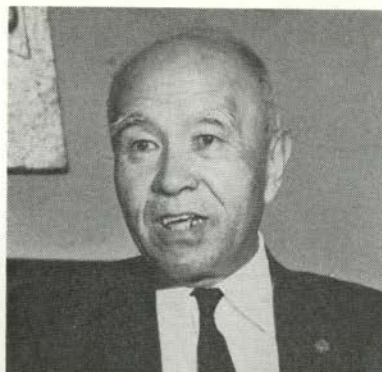


神戸眼鏡院

元町3丁目 ☎ 3112 ☎ 1443

☎ 0551 (貿易部)

生かしたい 社会奉仕の精神



天児 民博

(ライオンズ国際協会三〇二―W

6 地区ガバナ―)



槌橋 秀一

(ライオンズ国際協会三〇二―W

6 地区幹事)



滝 公平

(国際ライオンズクラブ三〇二―

W 6 地区青少年交換委員長)

6月20日、神戸・灘ライオンズクラブのチャーターナイトがオリエンタルホテルで開かれる。慶大教授奥野信太郎氏の記念講演「幸福への道」、津高和一氏、中西勝氏らの作品展をはじめ、バラエティに富んだ企画が予定されている。社会奉仕運動の一環として、灘ライオンズクラブの今後の活動が大いに期待されている。そこで、この機会をとらえ、今月の神戸っ子放談は、神戸ライオ

ンズクラブの主要推進者である三人の方々にお集まりいただき、ライオンズクラブの沿革、ライオンズクラブ精神、活動内容などを中心にいろいろと話し合っていた。

地域社会に奉仕すること
それがライオンズクラブのモットー

天児 最初にライオンズクラブの沿革をざっとお話ししよう。

ライオンズクラブが生れたのは、一九一七年なんですから、発足以来50年近くになるわけですね。ライオンズクラブの発案者は、シカゴの実業家であるメルヴィンジョーンズという人ですが、この世のなかには不幸な人々がたくさんいる、そういう人々のために、なにか手助けのできる道はないものだろうか、そういう考えがそもそもの動機だったんですね。それで、その年の6月7日にラサールホテルという所で第1回の会合が開かれたわけなんです。ジョーンズさんという人は、一昨々年に亡くなりましたけど、その後ライオンズクラブは世界各国に非常な勢いで広がっていったということですね。

日本にはじめて入ってきたのが、13年前ですね。東京にはじめてライオンズクラブが生れたわけなんです。

樋橋 マニラから東京へはいってきたんですね。石川欣一さんが主体になって、ライオンズ精神というものを日本にも広めようということになったんですね。

天児 それで、神戸は日本で第3番目にライオンズクラブができたわけですね。

まあ、ライオンズクラブの目標というと、発足の動機から明らかなように、地域社会になんらかの奉仕をしたいということですね。貧しい人々や力弱き人々に、少しでも奉仕や援助の手をさしのべたい、それがライオンズクラブのモットーなんです。そういうモットーが戦後の険しい社会情勢とマッチしたという事情もあって、急速に広がっていきましたね。

ライオンズクラブの名称の由来

ライオンは勇氣と智慧と誠実をあらわす

天児 よく人からライオンズクラブの名称の由来をきかれるんですが。

樋橋 当初は西鉄ライオンズの応援団とまちがわれたり

した。(笑)

天児 それは、創始者のジョーンズが名づけ親なんですよ。つまり、ライオンというのは、勇氣と智慧と誠実をあらわすというんですね。そういう性格がジョーンズのねらいとよく一致したということでしょう。それは、本人が手紙でちゃんと書いていますね。

——現在、日本にはいくつのライオンズクラブがあるのですか。

滝 全部で九百三十二のクラブがありますね。それほど広がっているということですね。

天児 その原因はなにかということですが……結局私は現在の社会をみると、福祉国家とか地域開発ということが、非常に盛んに唱えられていますね。つまり、全体的に社会奉仕の觀念ができてきているということですね。それだけにライオンズクラブもよく伸びることができたといえるんじゃないか。

神戸の国際性・ライオンズクラブの国際性

樋橋 その点で、私は神戸の町のもっている国際性を重視したいと思うんです。

というのは、東京の次に横浜にライオンズクラブが生まれたわけですね。ところが、ライオンズクラブの精神というものは、一般にも知識階級の間にも、十分認識されていたとはいえないんですね。それで、それ以上の発展がむずかしくなったんですね。そこで次のライオンズクラブを神戸にもつてきたわけでしょう。その時、神戸のメンバーは25人でした。つまり、ライオンズ精神の国際性と神戸の都市としての国際性とはマッチしたという点を強調したい。それ以後、神戸のライオンズクラブがスポンサーになって、大阪、松山、京都、広島、福岡というふうに西日本にどんどん広がっていったんですよ。神戸を中心に、そうやって枝を広げていったわけで、全国にライオンズクラブのうち三分の二は神戸の系統とい

えますね。

また、日本の全国大会の第一回の会合のホスト役をつとめたのも神戸なんです。そういう意味では、神戸は日本におけるライオンズクラブの発展に大きな力になってきたといえるでしょうね。

——現在、神戸にあるライオンズクラブの数はどれくらいですか。

滝 兵庫県のライオンズクラブ全体を、三〇二—W六地区ライオンズクラブと呼んでいます。現在神戸は全部で11のクラブに分れています。神戸ライオンズクラブ、神戸東ライオンズクラブ、神戸西ライオンズクラブ、三宮ライオンズクラブ、六甲ライオンズクラブ、甲南ライオンズクラブ、ポートライオンズクラブ、須磨ライオンズクラブ、阪神ライオンズクラブ、灘ライオンズクラブ、垂水ライオンズクラブがそれで、近く生田にもできる予定になっています。

世界百二十七カ国にクラブがありますけど、日本のライオンズクラブは、メンバーの数、クラブ数からいってアメリカに次いで第2位ですね。また、兵庫県西だけで約二千九百人の会員がおりますね。

神戸が先頭を切った交換留学生制度

滝 さきほど樋橋さんのいわれた神戸の国際性という点に関連して、青少年の交換留学の問題があげられますね。ライオンズクラブの子弟を互いに交換留学させてはどうかということなんです。それによって、相互の国の歴史とか実情その他の知識を深めよう、そしてさらに、究極的には世界の平和に寄与しよう、そういう目的でライオンズクラブの国際本部（シカゴ）が4年前に計画を立てたことがあるんです。しかし、この地区では、それを5年前からやっています。

今はシアトルのフランクリンハイスクールのペギー・ペーンという高校生が松蔭女子高校に留学に来ています

日本からは、松原光子さんという人が交換留学生として向うへ行っているわけです。

まあ、ふつうは夏休みとか春休みのような休暇を利用して、異国の家庭で生活を体験するというケースが多いですね。年々、交換留学生の数も増えて、去年は日本全体で13人行っています。こういうことは、神戸でしか出来ないことで、東京や大阪から依頼をうけて神戸のライオンズクラブがお世話をしているという状態です。

政治・宗教・人種の差別なく

樋橋 現在のところ、兵庫県には四つの郡にライオンズクラブがないんですね。だから、今後はそこにもライオンズクラブをつくって、ネットワークを完璧にしたいと思います。もっとも、メンバーをふやすだけでなく、実質的に奉仕をしたいと願っている人に活動してもらいたいと考えています。

ライオンズクラブでは、一切政治や宗教にはタッチしないという建て前です。だから、党派的な政治にはタッチしないし、キリスト教だから、仏教だからどうということもありません。むしろ、人種差別もしません。

天児 六甲ケープルの駅の近くを無料で掃除したり、無医村へ出かけていって、無料で医療をひきうけたりというふうに、奉仕の精神をいかに発揮している人が多いので心強く思っています。

地域開発、社会開発が強く叫ばれている時代です、ライオンズクラブのメンバーがその担い手になるんじゃないか、そういう期待が社会から盛りあがっているようですね。これからは私も、その期待にこたえるのだという覚悟で進みたいと思っています。

6月20日に灘ライオンズクラブのチャーターナイトが開かれる予定ですが、それを契機として灘ライオンズクラブとしてもいよいよ実質的な活動にはいってゆくことになるでしょうね。

〈文責・編集部〉

経済ポケット ジャーナル

原口市長「技術屋の夢」
を出版

原口神戸市長はロンドンで開く国際港湾協会総会に出席のため五月七日から六月十六日まで外遊しているが、ダイヤモンド社から「技術屋の夢」都市づくり人づくりが出版された。夢のかげ橋、山を海へ運ぶベルトコンベヤ、瀬戸内運河論、バイジラインなど斬新なアイディアと実行力の原口市長が都市づくり、橋づくりについて土木技術者、実務家として考えをまとめたもの。本書は三つの大きなテー



マ、都市計画、技術者の生き方、橋の研究についてまとめたもの。「現在、有力な都市過密論に大きな疑問を持っている。大都市への人口・機能集中は抑制すべきでない。人に語るより、自分で語るためにペンをとった」と述べているが、人間原口の体臭、主張がもののみごとに描き出されている。



(二百三十八頁、三百二十円)

サケー 西独で好評

ジェトロが昨年十一月、西独のハンブルグで主婦や関係取扱店を対象に日本酒の輸出可能性を調査したところ、意外に評判のいいことがわかった。びんについては回答者の四分の三がよいまたは大いによいとしている。残り四分の一は外観はあまりよくない、またはまったくよくないとしているが、これはびんの栓に反対しているもの。

彼等は王冠コルク栓はそもそもアルコール飲料に不適当だと考えているわけ。また創業年とか製造年を明記すべきだという意見もあり、飲み方を知らないのてくわしい説明書がほしいという意見も多かった。製品の質、つまり酒の味については被面接者の約半数が「酒の味はすばらしい」「よい」とみている。

認可される

神戸貿易健康保険組合

神戸貿易協会(会長沖豊

治氏)が中心になって二年前から設立準備していた神戸貿易健康保険組合が近く認可される見込みで、関係者は六月上旬にも設立記念を開くことにしている。組合管掌の健保組合設立は貿易業界では全国で初めてのケースであり、従業員にとつて大きな福音となろう。

組合への加入希望は百三十六社(いずれも協会員)で、約三千五百人。健保組合設立により①福利厚生施設を積極的に整備できる②求人難も間接的に緩和できるなどの効果が期待できると業界ではみている。またこの健保組合がひとつの契機になって、中小というよりもむしろ零細商社の多い神戸の貿易業者の協業化、共同が合併へと進むのではないかと期待する向きもある。

期待される

日中貿易の神戸使節団

日中貿易の前途はいま吉田書簡問題がからんで非常



藤野 光子さん(22才)
阪東調帯KK秘書室勤務

成徳学園高校を卒業して入社以来4年手芸・テニス・マンドリンと趣味は広い今はもっぱらマンドリンに熱中しておられる由。仕事にもすっかり慣れたベテランですが、「いつまでも入社当時の新鮮な気持を失わずにやっていきたい」とおっしゃる静かな中にもシンのあるお嬢さん

に暗いが、神戸から神戸経済友好訪華使節団(团长斉藤保次日本国際貿易促進神戸支局長)が中共を五月十一日から六月九日まで訪問、夢承志アジア・アフリカ連帯委員会主席(中日友好協会会長)ら中共要人と懇談、日中貿易拡大について話し合っている。この使節団には新明和工業、神戸工業、神鋼ファウドラ、阪東調帯ゴム、神港精機、岩谷産業ら中共に製品をすてに輸出し、また輸出しようという神戸の一流メーカーの社長、重役クラスが参加、実地に新生中国を見学するこ

とにしている。神戸港は戦前は中国貿易の主力港だったが、最近も日中貿易でかなり高いウエイトを占めている。斉藤团长は「いまブランド問題で日中貿易の前途は悲観的だが、機械、合織はこれから大いに伸びる。中国では化学工場を視察、技術者と懇談、できれば周首相とも会いたい」と語っていた。

噴水のあるビヤガーデン

一日の仕事をおえた初夏の夕べ
ここかしこのビルの屋上に設けられた、ビヤホールで、涼風に吹かれ、キラキラ光る街の灯をみおろしながら、ビールのジョッキを
かたむけるひとときこそサラリーマンや船員、学生たち、都市生活者が、日頃の生活のうさを晴らし人生のダイゴ味をあじわうときである。

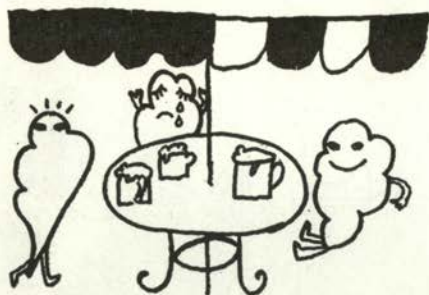
口のまわりいっぱいビールのあわをくつつけて最初の一杯をぐつとのみほすと、職場を離れた解放感がさらに大きくふくれあがり、ビールの量はぐんぐん高くなる。驚いたことには近來女性のビールファンがおそろしく多くなったが美肌をつくる美容的效果をねらうためばかりではなさそうだ。
我が国のビールの消費量はふえる一方で、昨年は二十万キロリッタに近く、この傾向は世界的なものである。

オリエンタルホテルでも正面玄関の上にあたる六階屋上庭園でビヤガーデンを設けることになった。築山でとりかこまれた緑の庭園の一角に小プールがある。その噴水は三十秒ごとに噴き上げ方が変化し、七色の色彩照明があてられて、モダンな感覚を生みだす。六月一日から開業するが、八月末まで涼味あふれる噴水の囁きを背景に、ハワイアンバンド・アトラクシオンがくりひろげられる。この水銀式噴水は日本で最初のころみであり、こんなに豪華なアトラクシオンもほかではみられない楽しいものである。

(料金)

生ビール	ゴブレット	100円より
串焼肉		200円より
チップポテト		100円

一流料理をほこるオリエンタルホテルとしてはこれまでにみられない大衆的攻勢である。



初夏のポーズをつくるマキシン



婦人帽子
マキシン

神戸・トアロード
TEL神戸33-6711-3

東京・銀座3-2
TEL東京535-5041

ボン・パリー



何から何まで
渋好みのパリー子

ボン・パリーは洋菓子の
本場フランスの味です
ブドーと洋酒を上品に、
ミックスした風味あるお
菓子です



アルモンド

本店 神戸市生田区元町通2の43
直売所 神戸大丸・新聞会館秀品店
本店TEL332203

神戸海洋気象台

松原新一 撮影／緒方しげを



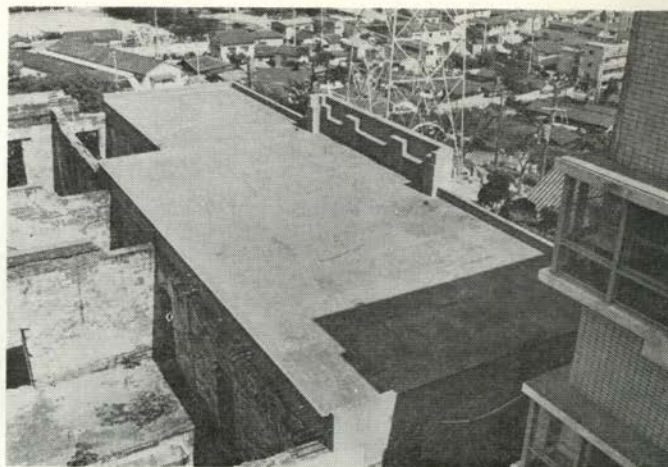
神戸海洋気象台の活動を象徴する風力塔

さて、ここであつたと神戸海洋気象台の沿革を記しておきたい。大正7月、神戸の船舶・海運業者の要望で、神戸にぜひとも海洋気象台を設立する必要があるという意見が強くなった。そこで2年後の大正9年5月、

船舶・海運業者の寄附により庁舎、附属舎が竣工、同年8月には完成しここに、我が国における唯一の海洋気象台の誕生をみたのである。当時、神戸海洋気象台は文部省の所管であつたが、昭和18年11月に運輸通信省に移管、昭和20年5月運輸省の管轄下にはいるという経路をた

どつて、現在に至っているわけである。その間、大正12年9月には無線送信設備が整えられ、船舶向けの無線放送を開始したり（現在では、この仕事は気象庁がやっている）、昭和2年3月に海洋観測船「春風丸」一世（百二十四トン）が活動を始めるなど、海洋気象台としての機能を果たしうる態勢を着々と整えていったのであつた。ちなみに、この春風丸は、北は樺太から南は台湾まで海洋観測の足を伸ばし、そのすぐれた活躍ぶりは、高く海外にまで鳴りひびいていたという。戦時中、機関部

神戸における気象観測の歴史は、極めて古い。明治8年、当時の神戸港長コールマン（イギリス人）が、近代測器による気象観測を始めた。神戸における気象観測のそれが濫觴である。その後、明治29年12月、宇治野山に兵庫県営神戸測候所が開設されたが、これは、現在の神戸海洋気象台測候課の前身。ここには、過去67年間にわたる正規の気象観測資料が保存されているのである。神戸の近代史を書く人にとって、それは貴重な資料となるはずである。



神戸海洋気象台庁舎の焼あと。神戸の悲しい名物と薩口をたたくムキもある。



刻々に送られて来る情報をもとに天気図を作成する予報官。

生命を投げだすことだ。そういう体験を実際に通りすぎてきた人がいる。神戸海洋気象台海洋課長の渡辺貫太郎氏もその一人だ。氏は、函館海洋気象台在籍当時（昭和38年）わが国ではじめて、初冬のオホーツク海観測航海をなした人である。「実際にやってみて、なぜ今まで誰もやらなかったかがよく分りましたよ」と苦笑しながら航海の思い出を、次のように語るのである。

「2年前の11月2日函館岸壁を離れましてね。なにしろ、今まで全く資料のない初冬のオホーツク海に乗りこんでいくのですから、家族や同僚の見送りをうけながらも、なんとなく不安でしたね。3日目の夜、ウップル水道を通過して漸くオホーツク海に突入したのですが、果たせるかな、水温がぐーんと下がってゆく。まっすぐ北西に向って中部樺太へオホーツク海を横断、主な観測対象だった東樺太海流の本流域で観測を続けました。その頃、朝鮮付近を低気圧が北東進しつつありましてね、ファックス天気図の等圧線が南北に無気味な谷を描いてい

たんです。来たなと思っていたら、案の定強風警報。翌朝になると、札幌、仙台、函館海洋と相い次いで、暴風警報の発令なんですね。もはや逃げ場がないんです。みんなそこで腹をすえましてね。東航の予定線を急ぎょ変更して漂流待機したわけです。約20mの風が吹きまくり、波高は7mにも発達し、しかも波長が短くて急峻な波浪に襲われたものだから、船体が51度も傾斜したくらいです。そういう状態でゆられっぱなしというのが48時間も続いたんです。

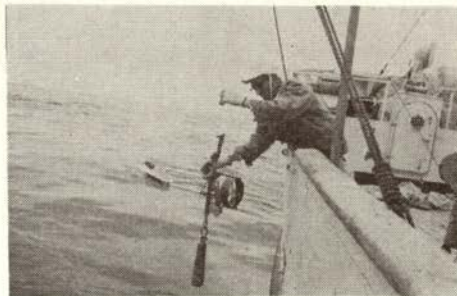

しかし、それによって、とにかく貴重なデータを得ることができたわけです。こういう危険には、程度の差こそあれ、誰もがぶつかっているでしょうね。といって無茶をやるわけではありません。観測団長が危険だと判断すれば、観測中止命令を出すこともできるわけで、先ず人命にかかわるような事故は起こらないでしょう」

航海の途中、神社に立ち寄って、安産のお祈りをする乗組員もある。ある観測員は、「留守宅で出産を目前に

主族は、夜明けにゾロゾロ参拜に出かけたりしますね日頃の無神論や朝寝坊は、どこへ行ったかと思ふくらい殊勝そのものです。春風丸が神戸へ帰港するまでに、目出たく出産の電報を受けとる人もありますから、御霊驗あらたかなりということですね」と、心あたたまる航海のエピソードを披露してくれた。

だが、こうした神戸海洋気象台の職員たちの努力は果して十分にむくいいられているだろうか。「全く何をしているんだか、わけがわからない」とある予報官は嘆息する。「昭和38年のことですがね、第11K丸(39トン)」という船が硫黄島の西方海上で台風18号のために遭難したことがあるんです。まあ、その時は近くを通りかかった船に助けられ、乗組員が無事だったのは不幸中の幸いでしたけど、そのニュースを知った時には、何をしているんだか全くわけがわからんと思ったですよ。台風18号については、転向緯度22度〜23度、その後北東進という線をちゃんと打ち出して、5日間その線をくり返していたわけですよ。私どもとしても、会心の予報と内心ホクン笑んでいたんです。これでは、現地の漁業無線局の面々もさぞ残念だったと思いますし、私どももやり切れない気持がしますね。台風予報は必ず当たるものとは限らない。せめて予報がうまく当たった時くらい、全員無事であってほしいですね。」語気鋭く、予報無視、無関心に対する怒りをぶちまける。

最後に、中野猿人台長に、現在の神戸海洋気象台のかえっている悩みを語ってもらったが、中野台長の言葉によると、今や神戸海洋気象台の稀少価値が失われたとい



瀬戸内海の海流測定にはげむ春風丸乗組員
〈写真提供神戸海洋気象台〉

う衰退感につきるようだ。

「先ず第一に、戦災庁舎の完全復旧という問題がありますね。昭和34年1月に庁舎の南半分だけ復旧しましたが、北側半分と地階は戦災をうけたままの状態です。現在に至っているのです。また、暖房設備も不足しています。戦前までは温水暖房の設備があったのですが、戦時中に金回収のためラジエーターが撤去されて、汽缶室、煙突などの設備はいまだに活用できない状態です。ストーブを使っていますが、夜の勤務には能率低下がひどいんですよ。それから船舶向けのボイス放送の実施と漁業無線



瀬戸内海の潮流測定にはびむ春風丸乗組員
〈写真提供神戸海洋気象台〉

島には漁業無線局が多数あって、南方出漁船との間の通信に当たっているのですが、この無線局と海洋気象台との連絡が充分じゃないんです。しかし、なかなか思うようにいきません。昔は、海洋気象台は神戸にしかなかったし、中央気象台と同格でしたが、今は中央気象台の下にはいつているわけです。戦後、長崎、舞鶴、函館に海洋気象台が出来て、そっちに力を入れるものだから神戸の予算は減らされる一方なんです。私の個人的な意見だけでも、他の海洋気象台と神戸気象台を同列に置くのは好ましくないと考えますね。ある程度ランクを設けて、国際的なレベルに引き上げるべきじゃないでしょうか。伝統的に、外国では神戸海洋気象台の力は高く評価されているのですから」なるほど庁舎の北半分は戦火を受けたままの姿である焼跡が痛ましく、草ぼうぼうのありさま。ある職員が自嘲気味に「今時分焼け跡が残っているのは、ここくらいでしょう。ここは神戸の名所ですね」と、つぶやいていたのが印象的である。この焼け跡が現在の神戸海洋気象台の苦悩を象徴しているのではあるまいか。



呉井肉店 みよこや

電話神戸③三三八八〜九番
大阪店阪神百貨店三階
電話大阪⑧五五四八番
姫路店やまとやしき百貨店三階
電話姫路②二二二一番
衣装部三宮町三丁目柳筋
電話③五一六五番

お中元に
KOBE BEEF

創業明治4年

株式会社 大井肉店

本店 神戸市生田区元町7(三越前) TEL③1046・4780
阪神・大阪三越・三宮そごう・神戸三越
新大阪駅日航国際空港・三宮駅・中突堤・各売店